



耐風パラソル

STELLA
- ステラ -

八角タイプ & スクエアタイプ 組立・取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください。



 東京ガーデニングスタイル
— TOKYO GARDENING STYLE —

この説明書はステラを安全に組立て、取扱う為のものです。説明書に従って組立ててください。万一、無視された場合、破損や怪我などの原因になる場合もあります。不明な点がございましたら、取扱店にご相談ください。



重要

この警告/重要マークが付く説明内容には特に注意を払ってください。但し、このマニュアルのその他の説明が重要ではないということではありません。

このマニュアルは今後、必要な時のために大切に保管してください。

< 安全のための重要な説明 >



以下の部分にご注意ください。

1. 説明

この説明内容を良くお読みになって施工してください。説明内容に沿って組立て施工をされなかった場合、怪我や破損の原因になることがあります。ご使用に際しては説明書をよく読んで下さい。

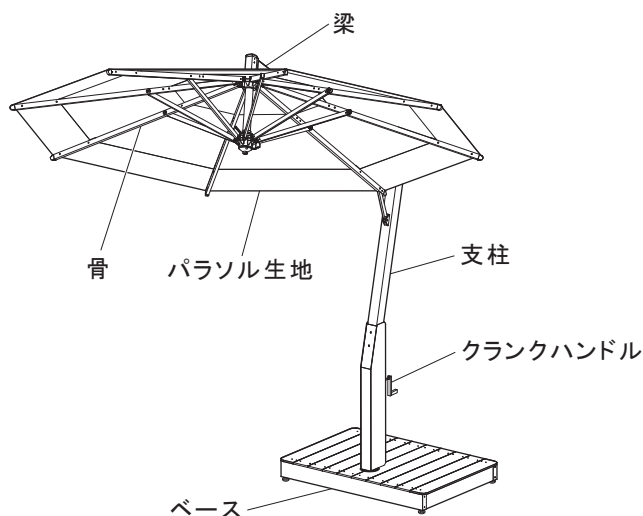
2. 警告

この商品は悪天候のための物ではなく日除け用です。強風や雷雨、豪雨や雪の時にはパラソルを閉じてベースから取り外し保管してください。ベースは、平らで安定した所(例:コンクリート等)に設置をしてください。芝・土等柔らかかな所への設置は転倒の原因となります。

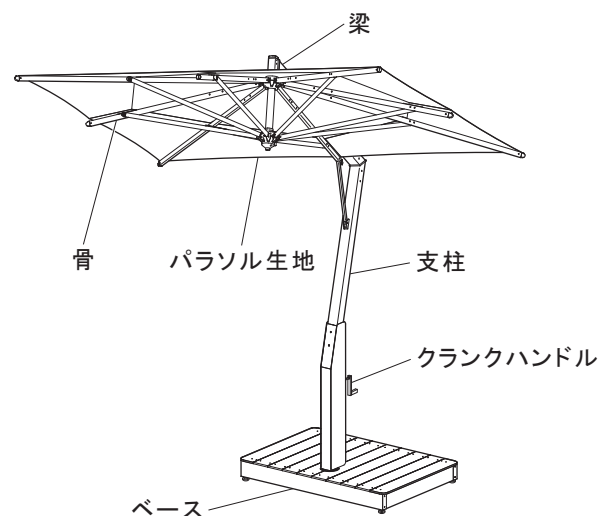
またベースは専用のウェイト(136Kg)で安定させてください。

クランクハンドルは常に取り外し、お子様から遠ざけて保管してください。

各部の名称



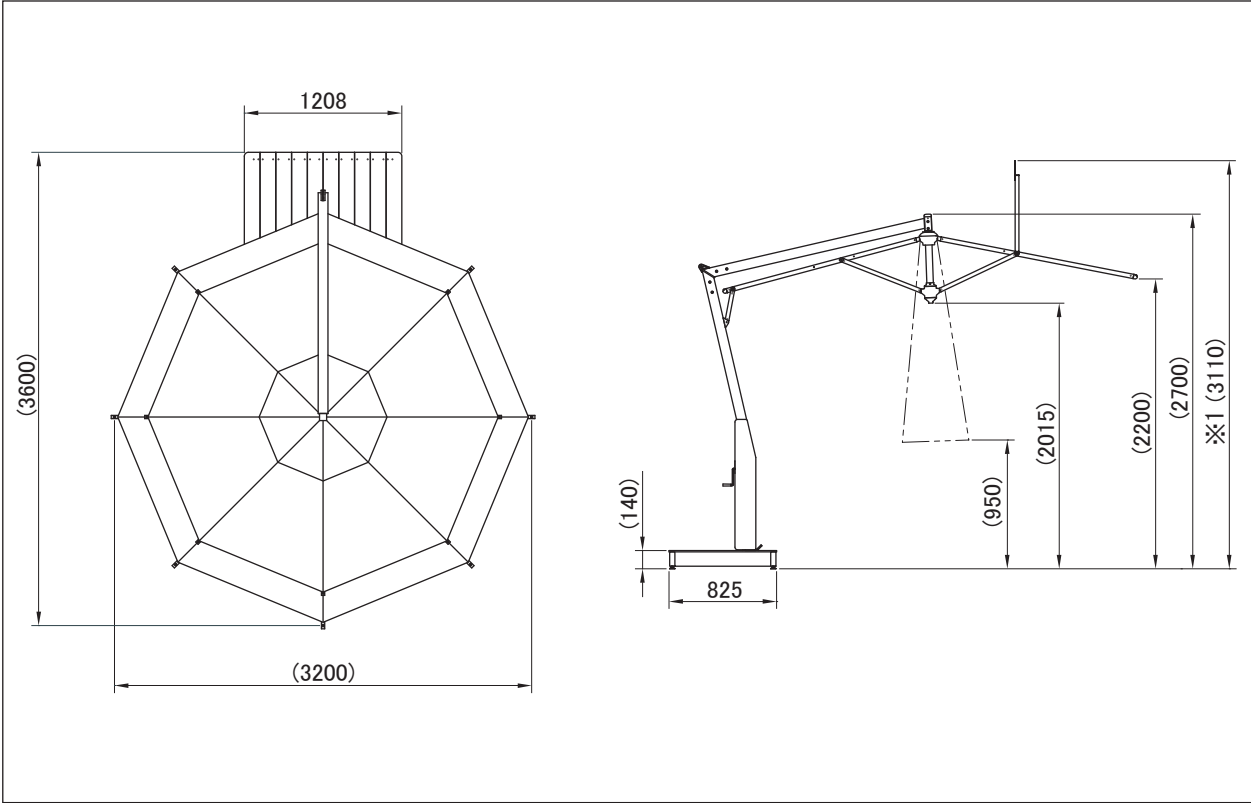
八角タイプ



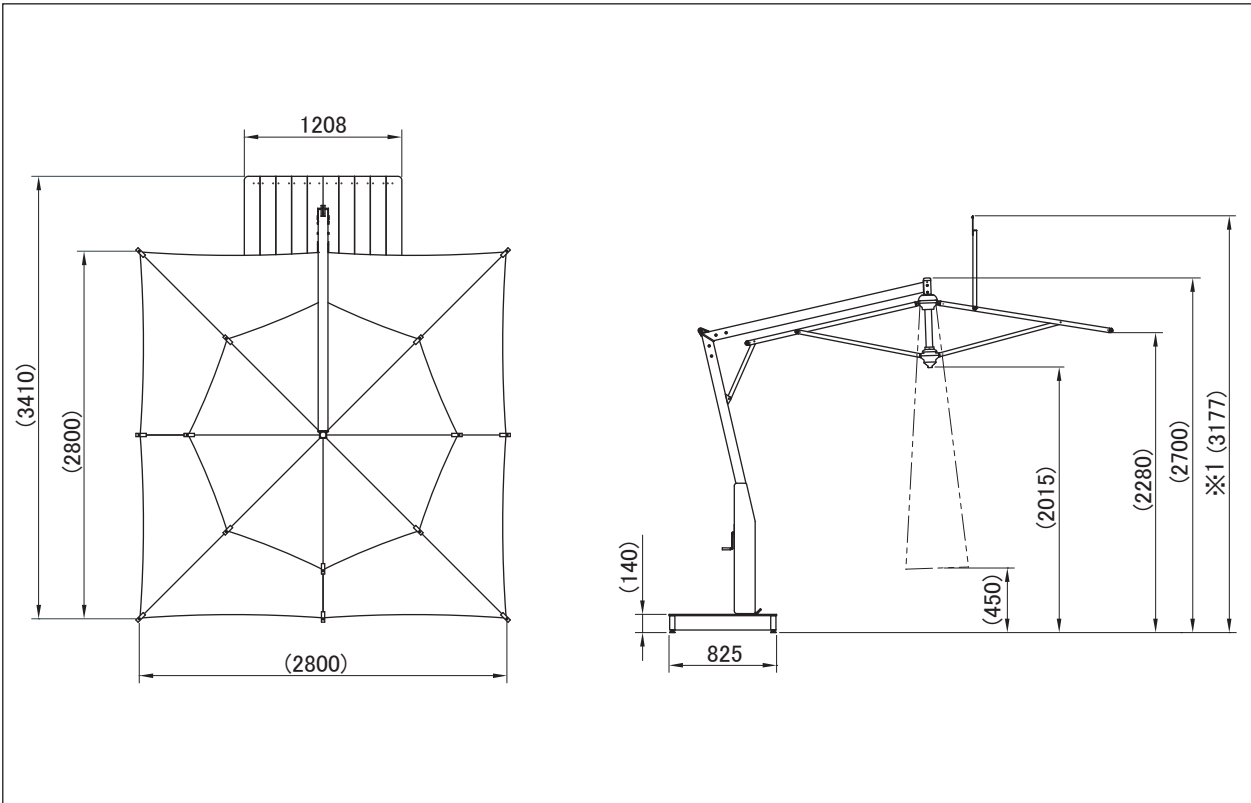
スクエアタイプ

基本図

八角タイプ



スクエアタイプ



※1 パラソルの上に構造物(軒下に設置の場合など)、電線類等がある場合、強風時に干渉する恐れがありますので、高さを確認の上ご使用ください。

梱包明細

梱包名称		梱包サイズ(mm)	梱包重量	数量
1.パラソル本体	八角	260×260×1840	18Kg	1
	スクエア	260×260×2310	19Kg	
2.支柱		290×215×2276	16Kg	1
3.ベース		850×155×1240	22Kg	1
4.ウェイト(2枚入り)		510×70×510	34Kg	4

梱包総重量	
八角タイプ	192Kg
スクエアタイプ	193Kg

<部品明細表>

1.パラソル本体(八角 or スクエア)

No.	名称	略図	数量
1	パラソル本体		1
2	クランクハンドル		1
3	グリップ		1
4	収納ベルト		1
5	組立・取扱説明書		1

2.支柱(共通)

No.	名称	略図	数量
1	支柱		1
2	梁		1
3	柱軸パイプ		1
4	支柱受け		1
5	回り止めピン		1
6	梁組付けボルト	六角ボルト M8×15	4
7	組立用スパナ	対辺13	2

3.ベースセット(共通)

No.	名称	略図	数量
1	ベース		1
2	ベースカバー		左右各1
3	ベース補強板		1
4	柱軸パイプ組付けボルト	六角ボルト M8×110	4
5	柱軸パイプナット	M8	4
6	柱軸パイプばね座金	M8	4
7	柱軸パイプ平座金(小)	8×16×1.2	4
8	柱軸パイプ平座金(大)	8×30×2.0	4
9	ベースカバー固定ネジ	化粧ネジ M5×50	4

4.ウェイト(共通)

No.	名称	略図	数量
1	ウェイト (1枚 17Kg)		8

< 組立て手順 >

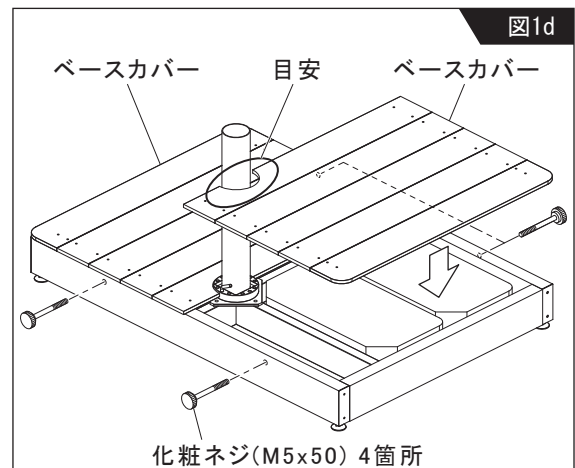
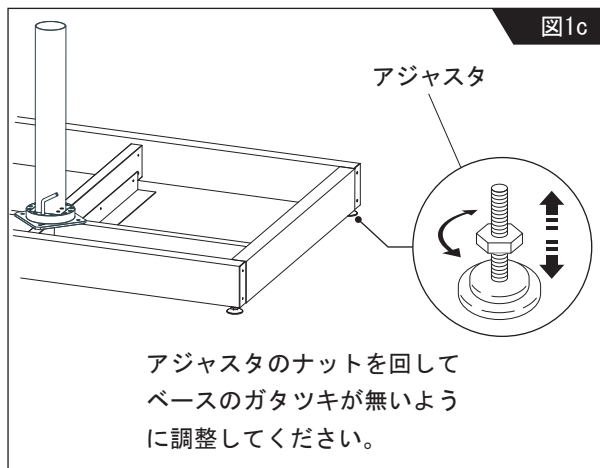
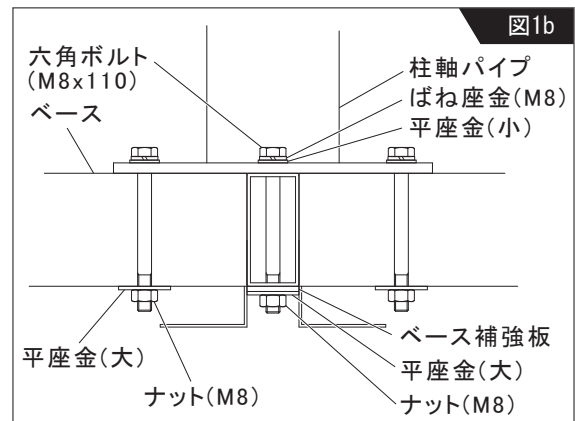
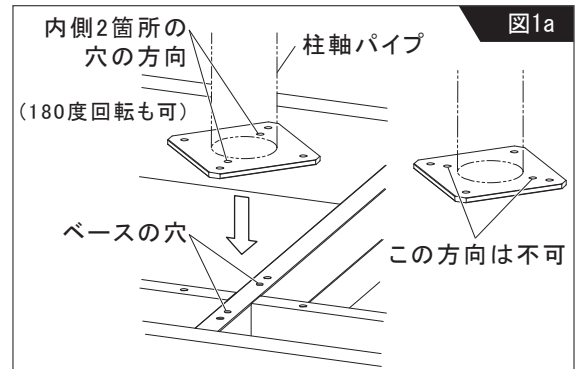
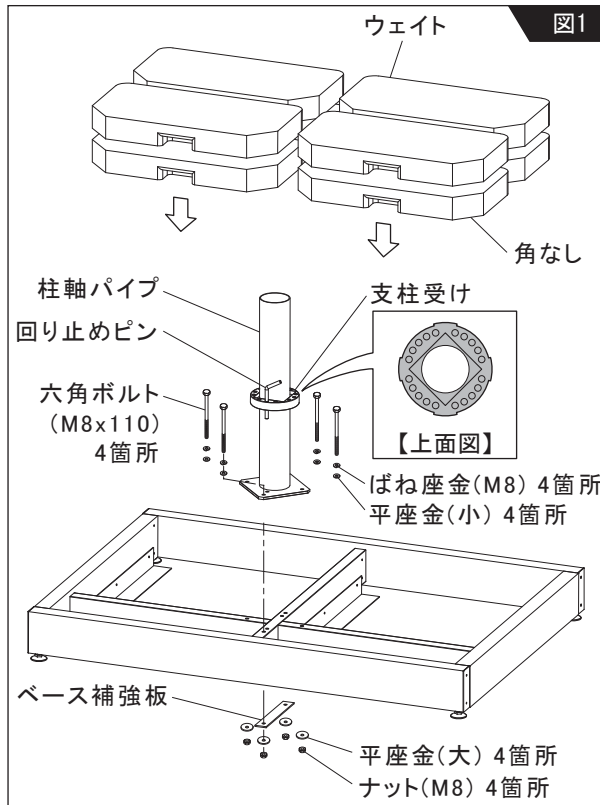
ベース組立 (図1、図1a、図1b、図1c、図1d参照)

- 柱軸パイプの6箇所穴の内側2箇所穴がベースの穴の方向と一致するように位置を合わせ(図1a)、ベースに六角ボルトで固定します。(図1)
六角ボルトは外側4箇所穴に上から差し込みます。その際、上側にはばね座金と平座金(小)を、下側にはベース補強板(1枚)と平座金(大)を組み込み、ナットで締めてください。(図1b)
- 支柱受けを柱軸パイプに取り付け、回り止めピンを差し込み固定します。(図1)
支柱受けは四角い溝がある側を上にご覧ください。
- ベースにガタツキが無いようにアジャスタを調整してください。(図1c)
- ベースにウェイト(8枚)を図のように載せてください。 ※136Kg(図1)
- ベースカバーを取り付けます。
半円の切欠きを目安に位置を合わせ、側面から化粧ネジを通し固定します。(図1d)

重要 柱軸パイプを固定するボルトは強く締めつけてください。

! 重しには専用のウェイトをご利用ください。大きさや厚さが変わるとベースカバーの破損につながります。

! ウェイトを取り扱う際には、指を挟んだりしないよう十分注意してください。



支柱・パラソル組立（図2、図2a、図2b、図2c、図2d、図2e参照）

1. 支柱に梁を差し込み、六角ボルトで固定します。(図2a)



六角ボルトはしっかり締めてください。

2. 支柱を柱軸パイプに差し込みます。(図2b)



支柱受けの四角い溝に支柱が入るように位置を合わせてください。

3. パラソル上部にあるジョイント部を梁の先端に差し込みます。(図2c)



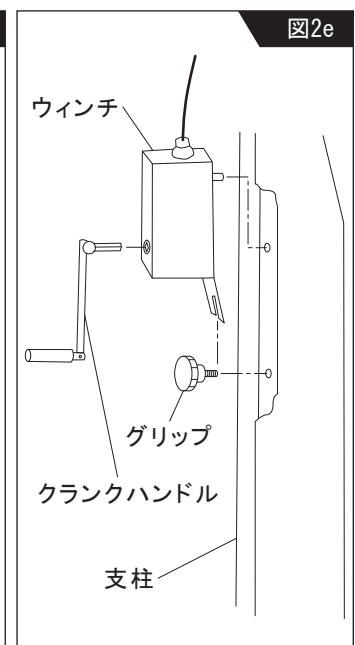
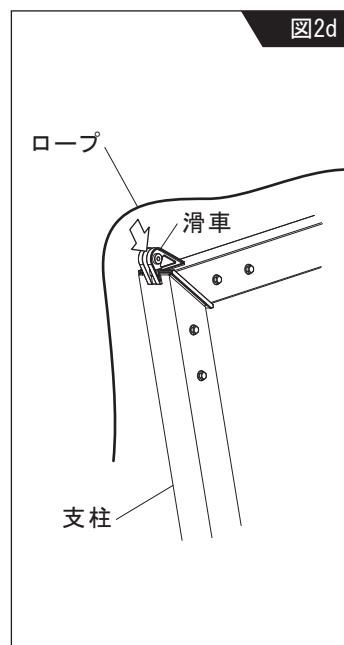
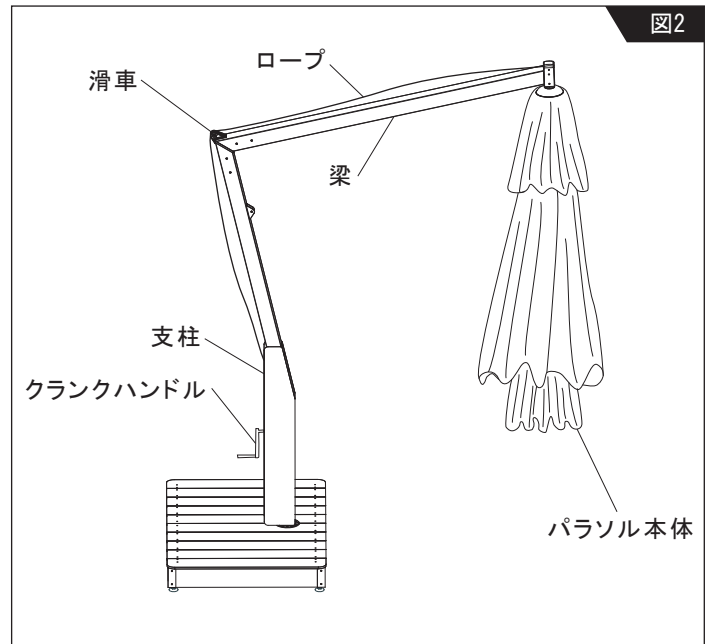
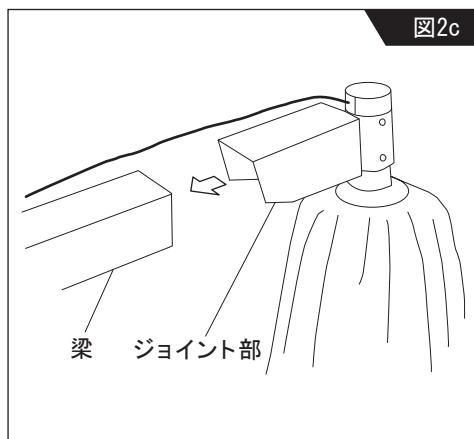
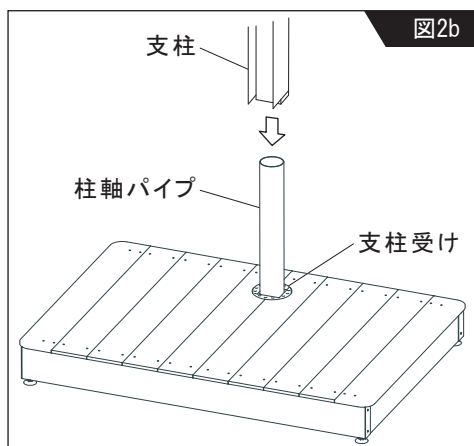
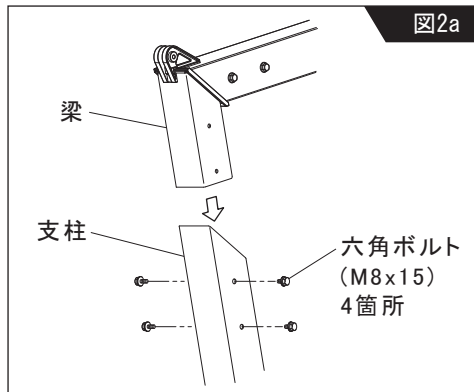
ジョイント部の根元までしっかり差し込んでください。

4. パラソル開閉用のロープを支柱上部にある滑車に通します。(図2d)

5. 支柱のウィンチ取付部にグリップを仮止めします。(図2e)

ウィンチの突起部分を支柱にある穴にはめ込み、グリップを締め込んで固定します。

6. ウィンチの四角穴にクランクハンドルを差し込みます。(図2e)



＜ 使用方法 ＞

パラソルの開き方（図3、図3a、図3b参照）

1. パラソルを開く前に、生地のおねじれ、引っかかりを直してください。クランクハンドルを時計回りの方向に、機構に負担のかからないようにゆっくりと回し、パラソルを開いてください。

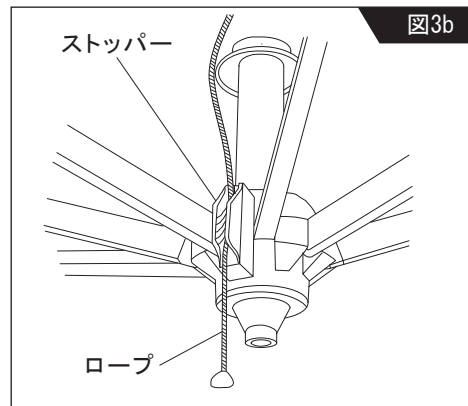
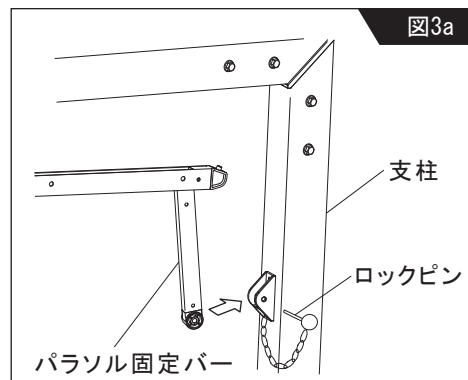
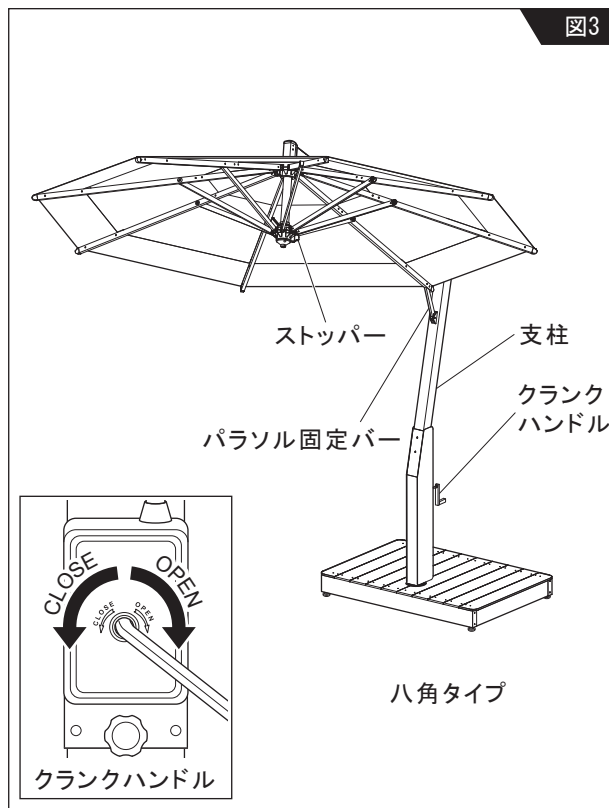


開閉方向が逆だと、事故や故障の原因になりますので十分ご注意ください。



途中で過度の抵抗がある場合にはクランクハンドルを反時計回りに回し、一旦パラソルを閉じて生地のおねじれ、引っかかりなどが無いか確認してください。無理に回すとパラソル本体、ウィンチ等が破損する恐れがあります。

2. パラソル固定バーを支柱の受け部に差し込み、ロックピンにて固定してください。（図3a）
3. パラソル中央部にあるロープをストッパーの溝に引っかけてください。（図3b）
パラソルが突然閉じてしまうことを防ぐ安全装置です。

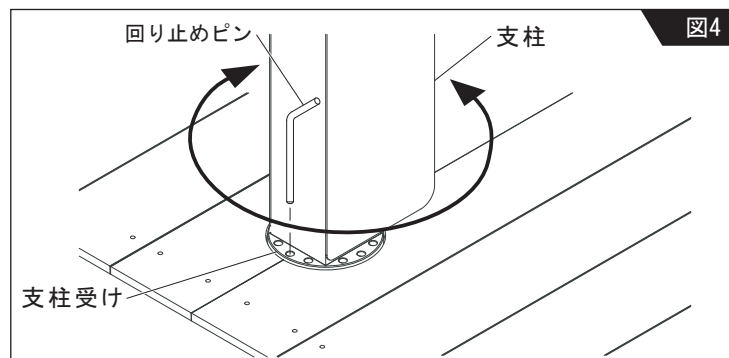


パラソルの回転方法（図4参照）

支柱受けに差し込んである回り止めピンを抜き、支柱を回転させるとパラソル全体が回ります。（360度）支柱受けに開いている12箇所穴のいずれかの位置でパラソルを固定することが出来ます。（図4）



回り止めピンは支柱受けの穴とベースの穴を合わせてから差し込むようにしてください。パラソルを回転させても回り止めピンを差し込む位置は変わりません。（正面の1箇所）

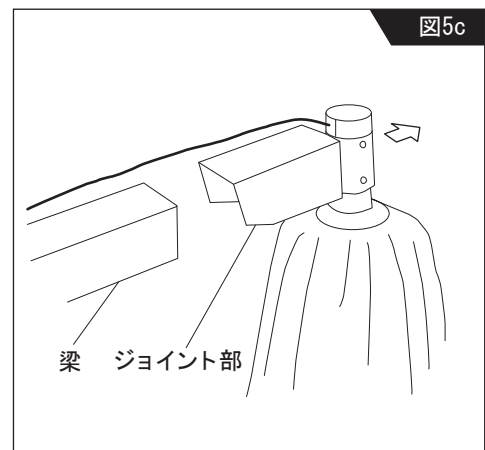
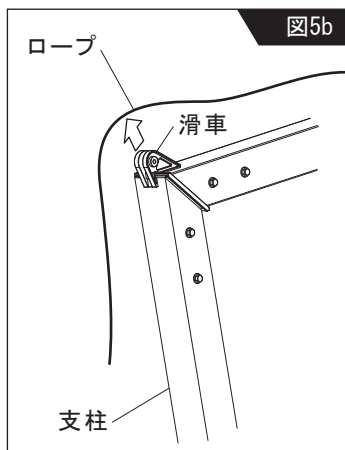
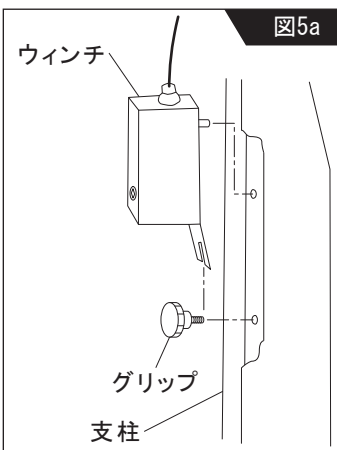
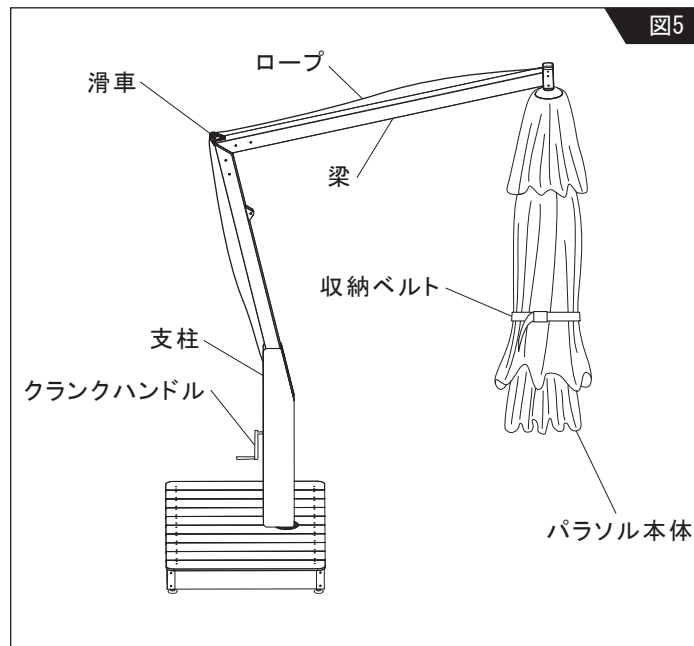
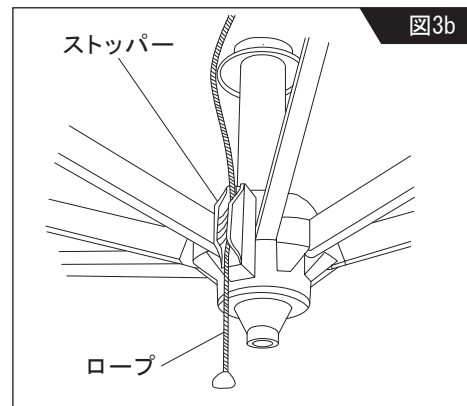
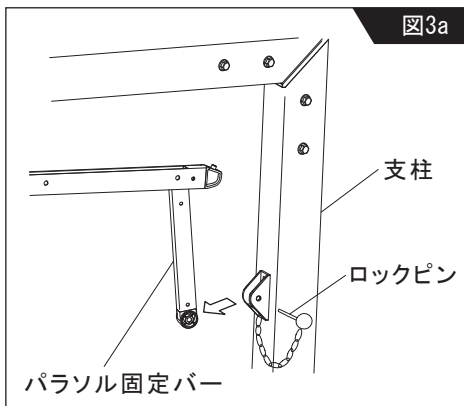


パラソルの撤去 (図3a、図3b、図5、図5a、図5b、図5c参照)

重要

パラソルを閉じる前にロックピンを抜き、パラソル固定バーを外してください。(図3a)
 パラソル中央のロープをストッパーから外してください。(図3b)

1. クランクハンドルを反時計回りに回しながらパラソルを閉じ、収納ベルトでしばります。(図5)
2. ウィンチを固定しているグリップを緩め支柱からウィンチを外し(図5a)、支柱上部の滑車からロープを抜き取ります。(図5b)
3. パラソルを少し持ち上げ、梁の先端に差し込んだジョイント部を引き抜きます。(図5c)



ベンチレーション機構について（図6、図6a参照）

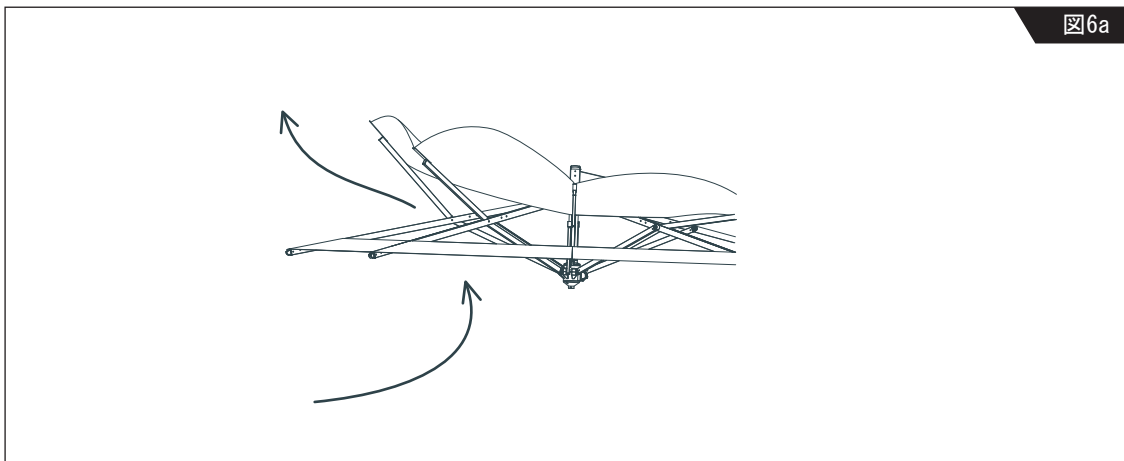
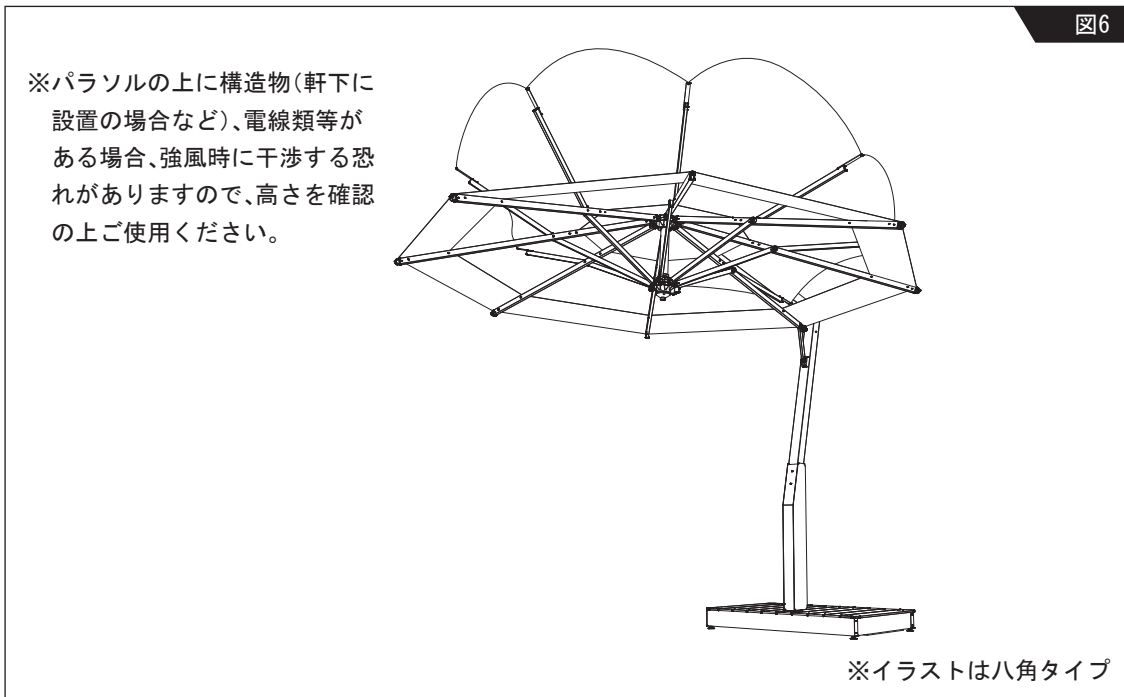
- この製品には安全対策として、強風時に風の力を逃がし転倒、破損を防止するベンチレーション機構を搭載しています。（図6）

<ベンチレーション機構>

風の力に応じてパラソル内周部が自動で開き風を逃がします。（図6a）

風が収まると自動で閉じ通常の状態に戻ります。

※閉じる際に多少の動作音がございますので、予めご了承ください。

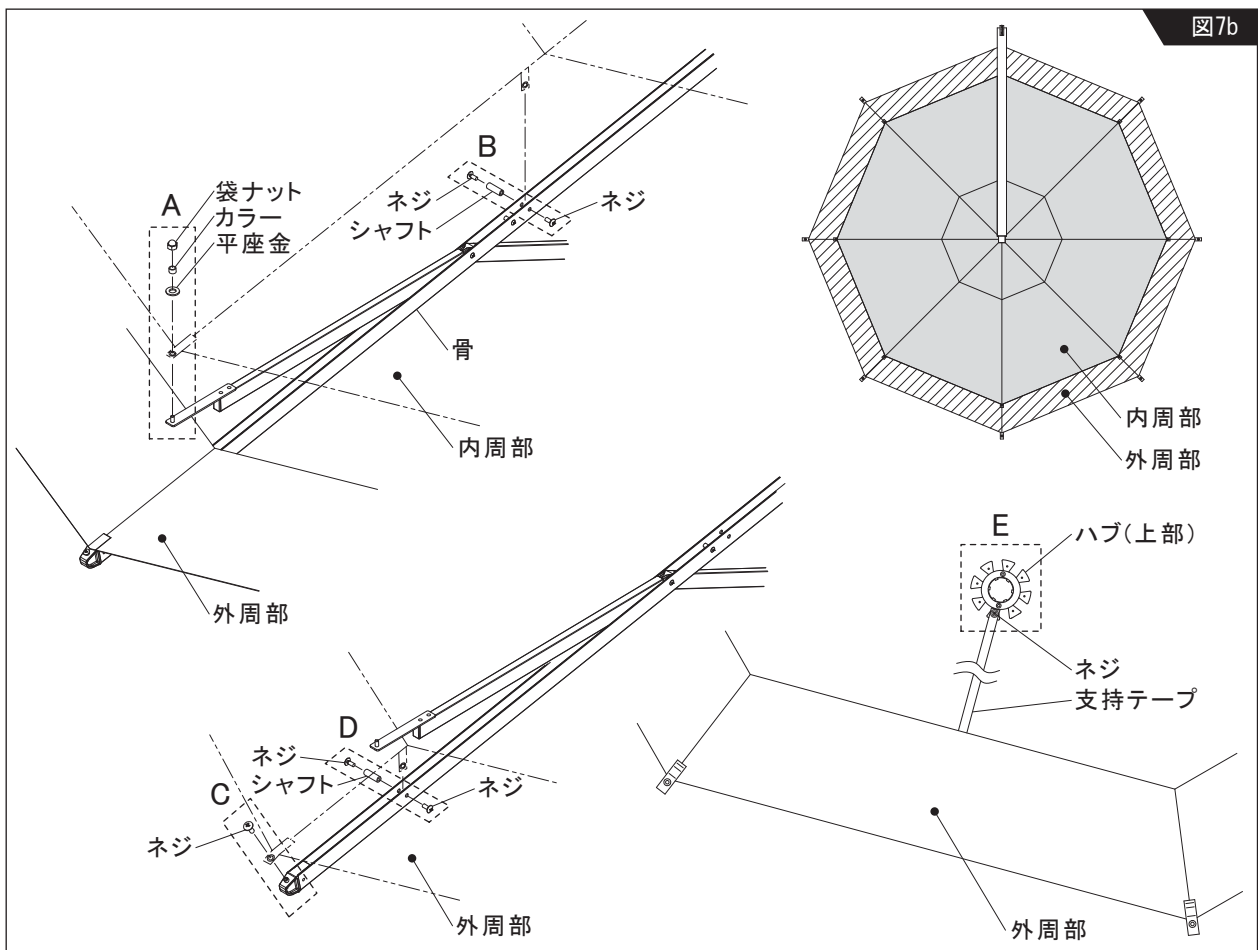
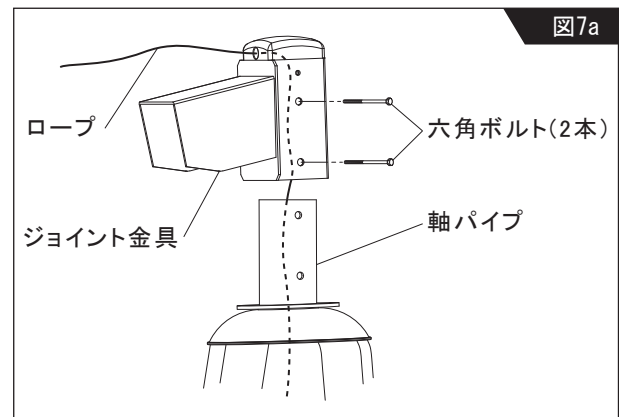
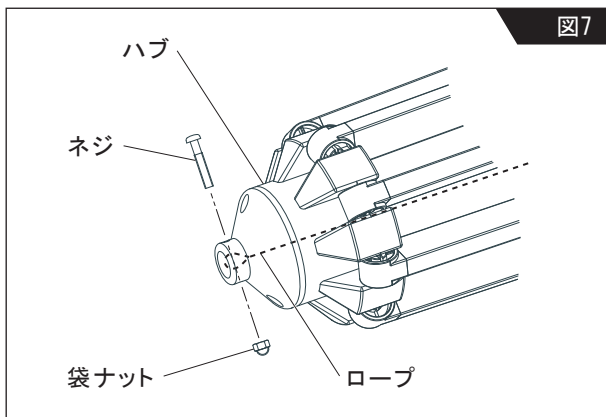


この機能が作動するような強風時には性能を上回る強風が吹く恐れがありますので直ちに使用を中止してください。

＜ メンテナンスと保護 ＞

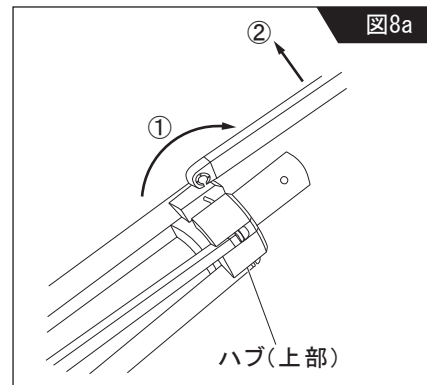
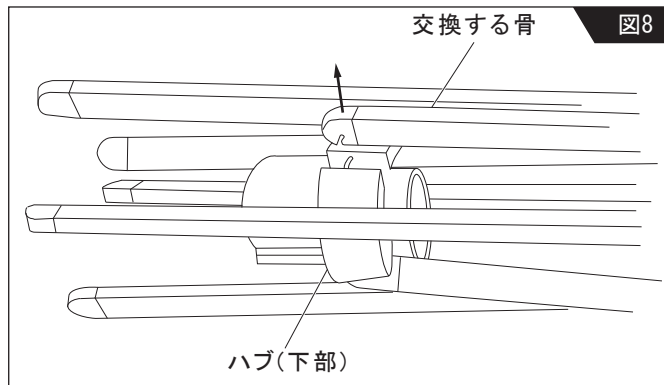
パラソル本体からウィンチと生地を取り外す（図7、図7a、図7b参照）

1. ハブ先端のネジを外し、ロープをフリーにします。(図7)
2. パラソル上部のジョイント金具のボルトを外し、軸パイプから外します。(図7a)
ロープを引いて軸パイプとジョイント金具から抜き取ることでウィンチの取り外しが可能となります。
3. パラソル生地を骨に止めている箇所(A~E)のネジを外し、生地を取り外します。(図7b)
生地は外周部と内周部の2パートにて構成されています。
初めに各骨の内周部(A,B)を取り外してください。その後外周部(C,D,E)を取り外してください。



パラソルの骨の交換（図8、図8a参照）

1. 交換する骨をハブ(下部)から上方向に引き抜いてください。(図8)
2. 骨を①のように180度回し、ハブ(上部)から上方向②に引き抜いてください。(図8a)
3. 骨を交換し、取り外しと逆の手順でパラソルを組み立ててください。



お手入れ

本製品は動くものです。いつまでも良い状態でご使用されるために、日頃からの定期点検を行ってください。

【点検項目】

項目	方法
各締結ボルト・ネジ類の緩みを確認	緩んでいた場合は締め付けなおすか、あるいは販売店にご依頼ください。
本体フレームのお手入れ	ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤を浸した柔らかい布を、かたくしぼって汚れを拭き取ってください。
パラソル生地のお手入れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. パラソル本体から生地を外す。 2. 生地は30℃くらいのぬるま湯で中性洗剤を使い手洗いする。 3. 生地を陰干しで乾かし、アイロンはかけない。 4. パラソル本体に生地を再び取りつける。

季節終わりの撤去と保管方法

季節の終わりに撤去する際には、本体を濡らした布で拭いたあと乾かしてください



本体構造が完全な状態かを確認する。
部品の損傷を確認した場合には、購入先に必要な交換部品に関してお問合せをしてください。

上塗装がはげた場合には補修してください。冬の期間中は乾燥した場所に保管してください。



生地部のカビ、各金属部の錆による損害を防ぐためにも、濡れた状態、または湿ったままでの保管は避けてください。

< アフターサービスについて >

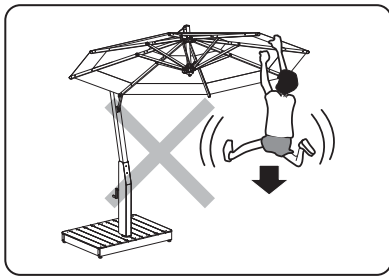
アフターサービスについて

- アフターサービスのご依頼、ご相談はお買い求めの販売店までご連絡ください。
- お取り扱いまたはお手入れが適当でない為に生じた補修及び部品交換などは、有償となる場合もありますのでご了承ください。
- 製品の改良の為、予告なく仕様を変更する場合がございますので、予めご了承ください。

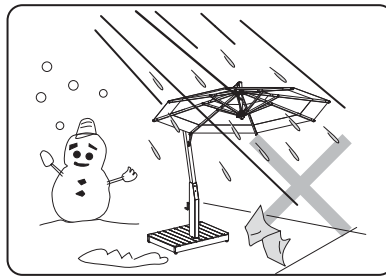
その他

- この商品は正しく取付け・ご使用にならないと大きな対物・人身事故につながる恐れがあります。取付け・ご使用の際には、この説明書をよく読み正しく使用してください。
- この説明書に従わず、お客様の不注意による商品故障・事故につきましては、弊社は責任を負いかねる場合があります。予めご了承ください。

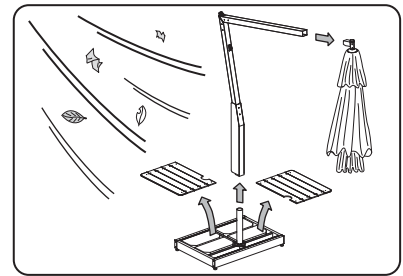
製品使用上の注意事項



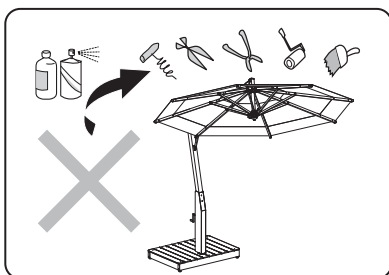
警告 柱やパラソルにぶら下がったり、本品に植木鉢等重いものを吊り下げないでください。



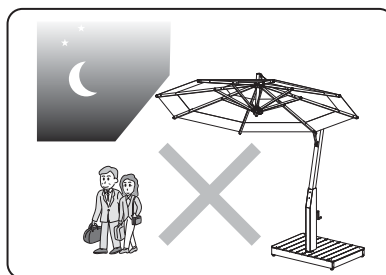
警告 強い風雨の時、積雪の際にはパラソルを収納してください。



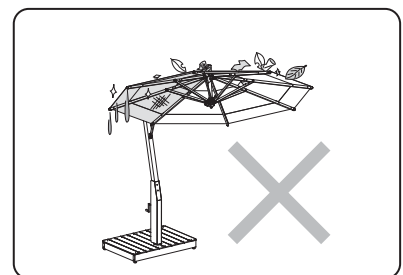
警告 台風など予め強風が予想される場合には、パラソル、支柱、ベースカバーを取り外し保管してください。



警告 化学薬品は変色などの原因になりますので洗い流してください。また独自の判断で本品の強度が落ちるような変更はしないでください。



警告 夜間や外出の際には、急な天候の変化により本品を破損する恐れがありますので、必ずパラソルを収納してください。



警告 パラソルが凍結している場合には溶けるまで待つてから操作してください。またゴミ等がある場合には、取り除いてください。



警告

- パラソルを移動させる際は、ベースから取り外して移動させてください。
- パラソルに接触するような、火気の使用を行なわないでください。火災の原因になります。
- 定期点検を行い、不具合箇所を発見した場合は使用しないでください。
- 破損・不具合等により、本体構造が完全な状態でない場合は、使用しないでください。

■ お問い合わせは

東京ガーデニングスタイル
TOKYO GARDENING STYLE
TEL 059-340-4100